



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2010
Jul. 7

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

重要なお知らせ

純系マウス／遺伝子改変マウスの
維持・供給業務を廃止します。

空調改修工事が完了いたしました。

昨年度は10月からの空調改修工事にご協力いただきありがとうございました。念願の空調機器の更新等の施設改修工事が実施されました。12月15日から新空調機器の試運転を開始し、年明けの1月4日から本格的に稼働を始めました。室内温度は夏冬とも23℃±2℃、湿度は今の時期を除き40%±10%に設定してあります。今回の置き換えた空調システムで特筆すべき点は南病棟の空調機器を上回るその加湿能力です。乾燥期にあたる冬場であっても湿度を30%～60%の間でほぼ一定に維持していました。現在、本格的な夏に備え、冷房設定を調整・初期エラーの修正を行っているところです。



改修前の旧館屋上全熱交換器周り
(平成21年10月撮影)



改修前の新館屋上2F・3F系統全熱交換器
周り(平成19年4月撮影)



改修後の旧館屋上全熱交換器周り
(平成22年6月撮影)

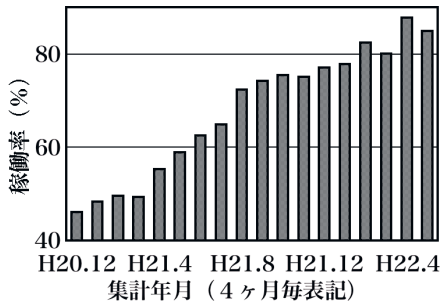


改修後の新館屋上2F・3F系統全熱交換器
周り(平成22年7月撮影)



中央監視装置(Savic)も一新し、これまで監視できなかった旧館側の温・湿度状態、空調機器の運転状況、火災報知機の状態、防火ダンパーの監視もできるようになりました。また、本学鹿田キャンパス全体の監視システム制御端末の予備端末としての役割も担っています。

純系マウス供給業務等を廃止し、マウスの収容能力の増強を図ります。



平成 20 年 11 月に共用を開始した本施設 5 階のマウス SPF 区域の飼育ラック稼働率 (収容ケージ数/収容最大ケージ数) をまとめたところ、グラフに示したように共用開始 4 ヶ月目から急上昇が見られ、平成 22 年度に入って 80% を超えている状況を維持しています。施設全体でもマウスの収容数の急増がみられ、現在、利用者各位の収容希望に答えるのが難しくなっております。そこで、鹿田施設では以下の各項目に取り組み、マウス収容能力の増強を図ります。

- 1) 平成 22 年度繰越金を原資に 5 階のマウス SPF バリア区域に整備したマウス飼育架台を 417 室に設置します。
- 2) 5 階 505 室で実施している遺伝子改変マウス維持供給業務を年内で廃止し、505 室をマウス飼育室として利用者に開放します。
- 3) 平成 21 年度に一方向気流式飼育架台を設置した 405 室をラット飼育室からマウス飼育室に転用します。
- 4) 4 階 403 室、404 室をラット飼育室からマウス飼育室に転用します。
- 5) 旧館 2 階で実施していた純系マウス供給業務を廃止し、飼育室を利用者に開放します (一部開放済)。



平成 20 年に共用を開始した 5 階マウス飼育室 (502 室)



利用者に開放した旧館 2 階マウス飼育室 (221 室)

旧館 3 階にラット飼育室・ラット行動解析室を整備しました。

平成 20 年度及び平成 21 年度に部屋貸し室の開放 (一部、部屋貸しを容認)、飼育室・実験室の整備を行っていた旧館 3 階区域の整備が完了しました。共同利用のラット飼育室 3 室及び実験室 3 室を整備し、322 室には行動解析用の室として簡易型防音室を設置し、324 室には取えて何も整備せずに water pool 等大きな設置床面積を必要とする行動解析装置等が設置できるようにしてあります。利用希望時には施設職員に申し出てください。



簡易型防音室
(旧館 3 階 322 室)



ユニット空調機を整備した行動解析実験室
(旧館 3 階 327 室)



ラット飼育室 (旧館 3 階 324 室)